

国語科学習指導案

日 時 2015年7月**日（*）*校時
生 徒 札幌市立北都中学校 2年3組 38名
授業者 松森 亮介

1. 単元名 キャッチコピーを考えよう

2. 単元の目標

指定された商品のキャッチコピーを考え、互いに吟味し合う活動を通して、工夫を凝らして目的に沿った短い文章を書き表す力を高めるとともに、文章表現を吟味しようとする意欲を高める。（書くことウ）

具体的な指導事項…… ①数字や問いかけ、掛詞や表現技法を用いて、表現を工夫する技能（書）
②題名など、短い表現を工夫して書こうとする態度（関）
③読み手の心を動かしやすい表現の工夫に関する知識（言）

3. 単元について

この単元では、作文の題名や新聞記事の見出しなどの短い文章を書くときに、表現の工夫を凝らして読み手の興味を引くような文章を書く力を高めることがねらいである。そのための手立てとして、キャッチコピーで用いられる「数字や問いかけ、掛詞や表現技法」などといった表現の工夫を学び、それを実際に使ってキャッチコピーを作るという活動、そしてそれをグループごとに発表し合って最も読み手の興味を引き、購入意欲を高めたキャッチコピーはどれか勝敗を決めるという活動を配置している。

題名や見出しと、キャッチコピーというのは同じ文種ではないため、それぞれで用いられる工夫にも差異がある。しかし、読み手の興味を引き、主となるものに目を向けさせるという役割は共通しているので、用いられる工夫にも共通性があると考えられる。また、それらは相手意識や目的意識が明確という点で、作文教材として優れている。

今回の場合、キャッチコピーに用いられる工夫として、数字、問いかけ、掛詞、表現技法などを取り上げた。いずれも作文の題名や新聞の見出しに活用できるものである。それぞれについて具体例と共に説明し、理解させた後、自ら選択させてキャッチコピー作りや題名作りに生かすよう指導していきたい。

なお、本単元のねらいである題名を作る力について変容をみとるために、単元の初めと終わりに作文説明を読んで題名を考える活動を設定している。生徒達にも、それこそが本単元のねらいでありゴールなのだ意識させていく。

4. 生徒の実態

二極化が激しい。何も言われなくても自分なりに工夫して記述することができる生徒がいる一方で、初めから「書けない」「書きたくない」「何を書いているかわからない」と諦めてしまっている生徒も5名ほどいる。その中には、教師が机間指導で言ったことをそのまま書かせようとしても手を動かさない生徒も

2名いる。そのような生徒にとって、「キャッチコピーを考えて対決する」という今回の手立てが意欲喚起につながるのではないかと考えている。

また、上位下位に関わらず全体的に、題名を工夫して書こうとする意識があまり見られない。先日の宿泊事後学習において新聞記事を書いた際、ほとんどの生徒が活動名をそのまま書いた見出ししか書けず、国語科としての指導の必要性が表れていた。

5. 指導計画 3時間

	学習のねらい	生徒の活動	関	書	言
1	単元の見通しをもつ。 キャッチコピーの作り方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ●四種の作文の説明を読んで、それぞれに題名をつける。 ●題名をつける力を高めるために、短い表現の中に工夫がたくさん込められているキャッチコピーについて学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ①数字を使う ②問いかける ③ダブルミーニング（掛詞） ④表現技法を使う（直喩、隠喩、擬人、擬音擬態、体言止め、反復、対句、倒置、省略など） ⑤リズムをつける（押韻） ●ある安直な商品キャッチコピーを、上記の工夫のいずれかを用いて書きかえる。 	○	○	○
2	指定された商品について情報をまとめ、キャッチコピーを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ●指定された商品の情報を確認し、グループでまとめる。 ●読み手を引きつけるキャッチコピーを個人で考える。 ●個人で書いたものを4人グループで発表し合い、グループとしてさらに検討を重ねて一つの決定案を作る。 	○	○	
3	互いのコピーについて評価し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ●班ごとに考えたキャッチコピーを発表する。 ●自分達以外のグループの中で、どのキャッチコピーが商品を買おうと思ったかを評価する。 ●これまでの題材について改めて、あるいは全く新しい題材について、個人でキャッチコピーを考える。 ●本単元で学んだことを生かして、第1時冒頭にやった四種の作文に題名をつける。 	○	○	○

6. 本時について①

(1) 本時の目標

- ・読み手の興味を引く文章の作り方や工夫の仕方について理解することができる。

(2) 本時の展開 (1/3)

過程	主な発問・指示・説明	生徒の活動	指導と評価
導入 20m	説) 題名や見出しを作る力を高めるために、キャッチコピーの工夫を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●発声練習、ミニプリ、漢字 ●ワークシート①に書かれた4種の作文の説明を読んで、それぞれに題名や見出しをつける。 ●本単元のねらいを把握する。 ●本時の課題を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> *ワークシート配布 *PC投影 *板書提示
キャッチコピーの工夫を学ぼう			
展開 25m	<p>発) この何の変哲もないコピー。これに比べて、こちらのコピーはどのような工夫がされているでしょう。</p> <p>指) 今学んできた工夫のどれかを使って、ノートにこのコピーを書き換えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●キャッチコピーの作り方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ①数字を使う ②問いかける ③ダブルミーニング(掛詞) ④表現技法を使う (直喩、隠喩、擬人、擬音擬態、体言止め、反復、対句、倒置、省略など) ●上記①～④の工夫を用いて、指定された安直なキャッチコピーを書き換える。 	<ul style="list-style-type: none"> *PC投影 *工夫がなされたものとなされていないものを提示し、その工夫について考えさせる。
整理 5分	指) 本時の反省を書きなさい。	●本時の反省を記述する。	<ul style="list-style-type: none"> 書) 工夫を盛り込んだキャッチコピーに書き換えている。(ノート) 言) 本時の学習事項を正しく捉えている(反省用紙)

(3) 本時の評価

- ・読み手の興味を引く文章の作り方や工夫の仕方について理解することができたか。

(4) 評価基準

- A …工夫のいずれかを用いて、読み手の興味を引くキャッチコピーに書き直すことができた。
- B …工夫のいずれかを用いて、キャッチコピーを書き直すことができた。
- Cへの手立て …授業の中で紹介したキャッチコピーと同じ表現を転用させる。

(5) 用いるワークシート

後に掲載

(6) 授業後の生徒反省

- 今日は、キャッチコピーの勉強をしました。いろいろなキャッチコピーを見て、興味を引くためのたくさんの工夫を知りました。自分で消しゴムのキャッチコピーを改善するときに次々と思いつき、楽しかったです。とても将来に生かせそうな面白い授業なので、次の授業も楽しくがんばります。
- キャッチコピーつくるのがおもっていた以上に大変だった。とくにダブルミーニングという工夫が一番むずかしいと思う。自分でときには読み手に問いかけるのが一番かんたんだったと思う。▼キャッチコピーつけるの楽しかった。
- 今回は、キャッチコピーや題名の工夫について学習した。自分は作文などが苦手なので、題名を工夫できるようにしたい。あと、キャッチコピーもいいものを考えられるようにしたい。
- キャッチコピーは、読んだ人が一目見て興味を惹かれるような文章を、短く、工夫して届けなければならないので、少しでも「面白い」と思えるような工夫が大事だと思いました。
- 今日はキャッチコピーを考えてみた。いつも題名はかたくなってしまい、ごく普通の感じになりがちであった。興味を引いてもらうためには表現技法を使ってみたり、数字を使ってみたりすれば、興味をもってもらえることができると知りました。
- 今日の授業でキャッチコピーの工夫を学んだ。作文の題名を書くときは、できるだけおもしろく工夫して書こうとしていたけど、なかなか思いつかなくていつも困るから、今日の授業はためになりました。
- 今日はキャッチコピーを作る練習をしました。おもしろいやつとかすごく考えるのが楽しかったし、想像が豊かになるな一っと思いました。テレビのCMとかはリズムがついていたりしてリズム芸と同じで耳に入ってきやすいなと思いました。キャッチコピーによって見る人やお客さんが物を買うときなどに短くわかりやすいものがこのまれるのかな？と思いました。
- 今日は、キャッチコピーの練習をして、自分は題名を考えたりするのは苦手なので、これから練習して、身につけていきたい。▼個人的にはダブルミーニングとリズムをつけるという工夫が気に入っているので、それをうまく使えるようになりたい。

7. 本時について②

(1) 本時の目標

- ・グループで話し合い、より目的に沿ったキャッチコピーを書くことができる。

(2) 本時の展開 (2/3)

過程	主な発問・指示・説明	生徒の活動	指導と評価
導入 15m		<ul style="list-style-type: none"> ●発声練習、ミニプリ、漢字 ●本時の課題を把握する。 	*板書投影
商品について情報をまとめ、キャッチコピーを考えよう			
展開 30m	<p>指) ネコの可愛さといえばどんなものでしょうか。</p> <p>指) 前回学んだ工夫を生かして、キャッチコピーを書きなさい。</p> <p>指) まず、順にキャッチコピーを述べ、その中から最も目的に沿うものを選びなさい。その後、より良くなるよう話し合いなさい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ネコのアピールポイントをグループで話し合っ て考える。 ●自分達で考えたアピールポイントや、商品の概 要を用いて、キャッチコピーを個人で考える。 ●指定された4グループとなって交流し、「キャッ チコピー」を決定する。基本的な流れとしては、 4人のうち最も読み手の興味を引くと思われる ものを選び、それを話し合っ て改善していく。決まったものはワークシートに記入し提出す る。 ●次時、班ごとに発表して、互いに評価し合うこ とを把握する。 	<p>書 工夫を用いてキャ ッチコピーを書いて いる。(ワークシー ト)</p>
整理 5分	指) 本時の反省を書きなさい。	●本時の反省を記述する。	

(3) 本時の評価

- ・グループで話し合い、より目的に沿ったキャッチコピーを書くことができたか。

(4) 評価基準

- A …前時に学んだ工夫のいずれかを用いて、読み手の興味を引くキャッチコピーを作ることができた。
- B …前時に学んだ工夫のいずれかを用いて、キャッチコピーを作ることができた。
- Cへの手立て … 同じグループのよく書けているキャッチコピーを真似させる。

(5) 用いるワークシート

後に掲載

(6) 授業後の生徒反省

- 前回とちがって、今回はキャッチコピーを新しく考える授業でした。色々なキャッチコピーの案が出てきて、よくカブらないなと思ったりしました。私の場合は色々な要素をとり入れたものを作りたくなりますが、別の人から出た「ニャー。」みたいなすごくシンプルなキャッチコピーも出てきて、少しおどろいて、でもこういうのもいいかなと思いました。
- キャッチコピーは意外に難しく、良いのが出てこなかった。やはり言葉を多く知っている人ほど良いのができるのではないかと思った。多くの言葉を知って、次回に備えたい。
- キャッチコピーをつくるときには、特徴をまとめ、更に面白い要素を加えることで見た人の目をひくキャッチコピーが出来るんだなと思いました。
- キャッチコピーを見ていて思ったことは、短くいかに情報を伝えるか、そしてインパクトをあたえるかが大事だと思いました。班で出た案には実際にそうかいても売れそうなものもあったのでいいなと思いました。
- いろいろな人のキャッチコピーを聞いて自分にはない発想が書いてあったので、もっと自分でも色々なアイデアを出せるようにしたいです。
- 今回はキャッチコピーを考えようで、自分なりにお客さんが足をとめてくれるようなものを考えられたのでよかったです。ここで習ったことは将来仕事についたときに必要になってくると思うので、時々練習してキャッチコピーの能力を身につけていきたいなと思いました。
- キャッチコピーを考えるのは、本当に楽しくてもっと作りたい。次回の授業でも作りたい。身の回りにも、色々なキャッチコピーがあると思うから探してみたいと思う。
- 今日は、キャッチコピーを一から考えました。班の人達と話し合ったりして良いキャッチコピーを考えられたのでよ方です。これからもキャッチコピーを考える時とかはその特徴をとらえてがんばりたいです。
- 今日は、キャッチコピーを考えた。いきなり考えたりしないで可愛さとか、アピールポイントを考えてからキャッチコピーを作った方がラクだと思いました。人をひきつけるキャッチコピーを作れたらいいなあ…。

8. 本時について③

(1) 本時の目標

- ・他のグループが考えたキャッチコピーについて、目的に即しているか評価することができる。
- ・学んだ工夫を用いて、人の興味を引き付けるキャッチコピーや題名を作ることができる。

(2) 本時の展開 (3/3)

過程	主な発問・指示・説明	生徒の活動	指導と評価
導入 15m		<ul style="list-style-type: none"> ●発声練習、ミニプリ、漢字 ●本時の課題を把握する。 	* P C 投影
自分でテーマや商品を考えて、キャッチコピーを考えよう			
展開 30m	指) 自分で商品を決めて、キャッチコピーを考えなさい。	<ul style="list-style-type: none"> ●各班の決定案を黒板に板書し、発表する。 ●目的である「ネコを飼いたくなかった」かどうかという観点で優劣をつける。 ●勝利した班はより効果的な表現を目指して、敗北したグループは次は選ばれることを目指して、改めてキャッチコピーを考える。題材は、第1時の消しゴム、第2時のネコに限らない。 ●ワークシートを机に残して自由に立ち歩き、互いの作品を交流する。 ●第1時でも考えた四種の作文について、これまでの学びを生かしてもう一度題名を考える。 	*ワークシート配布
整理 5分	指) 本時の反省を書きなさい。	●本時の反省を記述する。	書 工夫を盛り込んだ題名を書いている。(ワークシート) 言 本単元の学習事項や自身の学びを的確に捉えている。(反省用紙)

(3) 本時の評価

- ・他のグループが考えたキャッチコピーについて、目的に即しているか評価することができたか。
- ・学んだ工夫を用いて、人の興味を引き付けるキャッチコピーや題名を作ることができたか。

(4) 評価基準

- A ……これまで学んだ工夫を用いて、読み手の興味を引くキャッチコピーや題名を作ることができた。
- B ……これまで学んだ工夫を用いて、キャッチコピーや題名を作ることができた。
- Cへの手立て …… キャッチコピーの例を見せて真似させる。

(5) 用いるワークシート

後に掲載

(6) 授業後の生徒反省

- 自分で、キャッチコピーを考えるのは、意外と難しいと思いました。商品の特徴を捉えて、それを比喻にしたりするとキャッチコピーをつけやすいのかなと思いました！ ▼そのため、「百人のっても大丈夫！」というのは、覚えやすいし頭に残るので、考えたのはすごいと思いました。
- 今日はキャッチコピーについて学んだ。一番最初に書いたキャッチコピーより良くなっていて良かった。また、アピールポイントを書くこともかなり大切なんだな、と分かった。表現技法などを使ってみたい。
- 今日は最後のキャッチコピーの学習で、自分が最初の授業で考えたものよりも、工夫などをして自分で考えてキャッチコピーを作ると、最初の頃に比べてまったく違うものが作れることがわかりました。▼授業態度は集中して静かにしていたので良かったと思います。
- 今日は、キャッチコピーをたくさん考えて作文の題名を考えました。キャッチコピーを考えるのになれてくると、作文の題名や、いろいろな文章の題名をつけるのがけっこう楽だったので、キャッチコピーを考える授業があつてよかったと思います。
- 今日は、色々なもののキャッチコピーを考えました。最初は全く思いつかなかったけど、おもしろいかどうかは別として、色々思いつくようになってきました。考えるのも楽しくなってきたので、少し暇があつたらキャッチコピーを考えるのもおもしろいかなと思います。
- キャッチコピーは自分にとって簡単にできるものとできないものがあるので夏休み中にテレビなどで良いものがあつたら頭の中で考えてみたり、紙に書いて練習したりしたいなと思いました。この経験を活かして、将来の夢につなげていきたいと思いました。
- 今日は、キャッチコピーの続きをやりました。前は全然キャッチコピーが思いつかなかったけど、今日は今までやってきた分なぜかすぐに思いついたので、初めの頃と今までで成長したんだなと思いました。前は全然思いつかなくて大変だったけど、今はすぐに思いつくので楽しかったです。
- 今日は、商品を自分で考えてキャッチコピーを書きました。私はクルトガを商品としてキャッチコピーを書いたんですけど、最初はアピールポイントを書かないでいて、でも途中書き始めてからはアイデアもいっぱい浮かんでとても楽しかったです。▼次回も題名などを考える時はアイデアをあいてる所を書いてから題名を考えたいと思います。
- キャッチコピーの最後の授業だったので、いろいろなキャッチコピーを考えてみようと思ったけど、全然書けませんでした。改めて考えてみると、キャッチコピーを考えている人はすごいんだなと思いました。
- 今日は、今まで学習してきた事をふまえてキャッチコピーを考えました。キャッチコピーの工夫として、数字・問いかけ・ダブルミーニング・表現技法・押韻などがあつたが、それを習う前と後ではだいぶ違った。人をひきつけるキャッチコピーとは、やはり一回聞いただけで頭に入るようなものがないと思った。
- 今日はキャッチコピーを考えました。ちょっと難しいっていうか、良い案がおりて来ない。でも、初めてダブルミーニングでつくれたから良かった。

9. 生徒が考えたキャッチコピーの分類

①数字

- ・苦勞で三ツ星アウトドアランチ
- ・三時間で悪夢、三十分で夢のようになる「スマホ」
- ・スマホは、使うと十分たっても一分に感じる危険な道具
- ・180度変わった合唱
- ・1回こすれば白紙になる
- ・1秒で十文字!? 消しゴムです
- ・元気100%茶トラちゃん♡
- ・手のひらに、3匹のはせられます (ハムスター)
- ・百回泣いても百回後悔しても後には戻れない (いじめ)

②問いかけ

- ・あなたの小指、曲がってませんか?
- ・私と就活しませんか?
- ・人手は足りてますか?
- ・あなたの消しゴム、消したら黒くなりませんか?
- ・あなたの消しゴム、消えてませんか?
- ・今字を間違いましたね?
- ・家族を一人増やしませんか?
- ・この子の肉球、特別です
- ・あそばれてみませんか

③ダブルミーニング

- ・どの消しゴムよりも消えるモノです
- ・黒歴史消しませんか
- ・何度でも、やり直そう
- ・一緒にいるとあったかい
- ・おふとん温めます
- ・暗い人生より明るい人生を長く! (LED電球)
- ・これを買ったら心が躍る (ダンス)

④表現技法

- ・YES採用! Come採用!
- ・火が心をつなげる
- ・パタパタ私の腕…。
- ・苦勞のあとの天国
- ・アメノチハレ (合唱コン宣伝文)
- ・小さなキッカケで大きなチャンスへ
- ・過去、思い出、間違い、文字、よく消えます。

- ・私の仕事はえんぴつを見せないこと
- ・私の夢は、マッキーに勝つこと
- ・ゴシゴシしなくてもサラサラ消える
- ・記憶の消すのは難しい。字を消すのは簡単!
- ・ずっと一緒にいたい。人間大好き。
- ・今はかわいい。もっとかわいく。
- ・可愛いものに目がなくなつて、可愛いネコには目がある!
- ・この先の人生、おとしますニャ
- ・お前がくれるメシを食べたい
- ・私が支えます♡ (椅子)
- ・この一枚は億万長者への切符です (宝くじ)
- ・まるで液体のようなソフトさ (コンタクト)
- ・顔を隠せる大きさ (おたま)

⑤押韻

- ・青い空の下であおいだアウトドアランチ
- ・上手い、美味しい、アウトドアランチ
- ・ほどほどに、使うべきかも、スマートフォン
- ・女学生の逆募集
- ・やばい、楽しい、おいしいアウトドアランチ
- ・ランチ作りで友達づくり
- ・合唱、最強、がんばろう
- ・サイトで採用します。
- ・スマホの魔法
- ・応援してほしい。みてほしい。
- ・消せる消しゴム、結構消せる
- ・消える、はまる、流行る
- ・1秒で消せるん。そんなことあるん?
- ・この子いいネコ

※第2時で各班の決定案

- ・吾輩はネコである。名前はまだないのであなたがつけてください。
- ・お買い得を解説 ちょっとかってみませんかお姉さん
- ・あなたの家にかわいい住人を増やしませんか
- ・なつくまで三秒もかからニャい!
- ・甘えん坊はじめました
- ・可愛い! 楽しい! ネコ欲しい!
- ・一人暮らしのあなたに笑顔と小さな幸福を